

TAKURA WATCHING

今月も町の話題が盛りだくさん！



的をめがけて

1月12日(日)、岩田長良神社で弓取り式が行われました。大世話人が「マンビョウブレ、テンビョウブレ」と災厄をはらうためのかけ声と共に空へ向かって矢を放つと、子どもたちは的に向かって矢を放ちました。

射た矢が的に命中すると、参集者から大きな拍手が沸きました。



楽しく新年の集い

1月15日(水)、北保育園で園児の祖父母のかたがたを招き、新年の集いが行われました。園児たちは祖父母らと椅子取りゲームをしたり、歌を披露するなどして楽しく過ごしました。また、館林達和会の関口達也さんが和太鼓演奏や、獅子舞を披露し、新年の集いを盛り上げました。



文化財を火災から防ぐ

1月19日(日)、文化財防火デーにあわせて、国や県の重要文化財がある雷電神社で文化財模擬火災訓練が行われました。

文化財を火災などの災害から守るということを主な目的とし、雷電神社の本社より出火したという想定で消防団をはじめ地域のかたがたが消火訓練にあたりました。

認知症予防の取り組み

1月23日(木)、中央公民館で、あたまのたいそう教室が開催されました。参加者はボランティアの学習サポーターといっしょに読み書き教材や計算教材を使い認知症予防に取り組みました。参加した亀田たか子さん(飯野)は「勉強するのが好きなので、教室を毎回楽しみにしています」と話しました。



大人への一歩

1月12日(日)、東洋大学板倉キャンパスで成人式が行われました。

新成人を代表して村松祐毅さん(岩田)が「これからは自分自身の力で新たな道、新たなステージへと進まなくてはなりません。踏み出すことを恐れずに力強く前進したい」と誓いの言葉を述べました。成人の主張では、2名の新成人がそれぞれ家族への感謝の言葉、生まれ育った町への思い、仲間とのつながり、今後の目標など、新成人や式典参加者を前に発表しました。

また、式典では中学2年生の立志式で封をしたタイムカプセルを開封し、2名の新成人が中学校時代の恩師立ち会いの下、20歳の自分へのメッセージを読み上げました。

式典後には成人式実行委員会主催による記念パーティーが催され、久しぶりに顔を合わせた新成人たちは、皆晴れやかな笑顔でかつての級友や恩師との再会を喜び、写真を撮り合ったり、思い出話に花を咲かせる姿が見られました。



力あわせる200万

1月5日(日)、板倉中学校体育館で板倉町子ども会上毛かるた大会が開催されました。今年で48回目の開催となる伝統のあるこの大会、冬の子どもの会の行事として定着しています。この日のために練習を重ねてきた小中学生が熱い戦いを繰り広げました。

子どもたちは寒さに負けず、群馬県の人物、地理、風物などが幅広く読まれている札を取り合いました。